

RV110WのDSCP設定

目的

DiffServコードポイント(DSCP)は、フレームのIPヘッダー上のトラフィックの優先順位を指定するために使用されます。DiffServは、さまざまなQoS要件を満たすことができる複数のサービスモデルです。ここでは、ネットワークは各パケットで指定されたQoSに基づいて特定の種類のサービスを配信しようとしています。この仕様は、IPパケットや送信元アドレスと宛先アドレスで6ビットDSCP設定を使用するなど、さまざまな方法で発生します。ネットワークは、QoS仕様を使用して、トラフィックの分類、マーキング、シェーピング、ポリシング、およびインテリジェントキューイングを実行します。また、いくつかのミッションクリティカルなアプリケーションや、エンドツーエンドのQoSを提供するために使用されます。通常、Differentiated Services(DSCP)はトラフィック分類のレベルが比較的粗いため、集約フローに適しています。DSCPを使用して、ルータがType of Service(ToS)オクテットのプライオリティビットを使用して、レイヤ3のトラフィックにQoSよりも優先されるようにします。

このドキュメントでは、RV110W Wireless-N VPNファイアウォールのQoSマッピングでのDSCP設定について説明します。

該当するデバイス

- RV110W

トラフィック転送キューマッピングへのDSCP値の設定

ステップ1: ファイアウォール設定ユーティリティを使用して、[QoS] > [DSCP Settings]を選択します。「DSCP設定」ページが開きます。

DSCP Settings

DSCP Value to Traffic Forwarding Queue (1 lowest-4 highest priority) Mapping

Set Port to DSCP mode in the [QoS Port-based Settings page](#)

DSCP	Binary	Decimal	Queue
BE(Default)	000000	0	1 ▾
CS1	001000	8	1 ▾
AF11	001010	10	1 ▾
AF12	001100	12	1 ▾
AF13	001110	14	1 ▾
CS2	010000	16	2 ▾
AF21	010010	18	2 ▾
AF22	010100	20	2 ▾
AF23	010110	22	2 ▾
CS3	011000	24	3 ▾
AF31	011010	26	3 ▾
AF32	011100	28	3 ▾
AF33	011110	30	3 ▾
CS4	100000	32	3 ▾
AF41	100010	34	3 ▾
AF42	100100	36	3 ▾
AF43	100110	38	3 ▾
CS5	101000	40	4 ▾
EF	101110	46	4 ▾
CS6	110000	48	3 ▾
CS7	111000	56	3 ▾

- Collapse to view RFC values only
 Expand to view all DSCP Values

注：[QoS Port-based Settings]ページをクリックし、[Trust Mode]が[DSCP]に選択されていることを確認して、次に進みます。詳細については、『[RV110W、RV120W、およびRV220WでのQoSポートベースの設定](#)』を参照してください。

- Collapse to view RFC values only
 Expand to view all DSCP Values

ステップ2：該当するオプションボタンをクリックして、RFC値のみをリストするか、DSCP設定テーブル内のすべてのDSCP値をリスト表示するかを選択します。この記事では、[Expand to view all DSCP Values]をクリックして、DSCPのすべての値を表示します。

DSCP Setting Table			
DSCP	Binary	Decimal	Queue
BE(Default)	000000	0	1 ▼
	000001	1	1 ▼
	000010	2	1 ▼
	000011	3	1 ▼
	000100	4	1 ▼
	000101	5	1 ▼
	000110	6	1 ▼
	000111	7	1 ▼
CS1	001000	8	1 ▼
AF11	001001	9	1 ▼
	001010	10	1 ▼
AF12	001011	11	1 ▼
	001100	12	1 ▼
AF13	001101	13	1 ▼
	001110	14	1 ▼
	001111	15	1 ▼
CS2	010000	16	2 ▼
AF21	010001	17	2 ▼
	010010	18	2 ▼
	010011	19	2 ▼
AF22	010100	20	2 ▼
	010101	21	2 ▼

AF23	010110	22	2 ▾
	010111	23	2 ▾
CS3	011000	24	3 ▾
	011001	25	3 ▾
AF31	011010	26	3 ▾
	011011	27	3 ▾
AF32	011100	28	3 ▾
	011101	29	3 ▾
AF33	011110	30	3 ▾
	011111	31	3 ▾
CS4	100000	32	3 ▾
	100001	33	3 ▾
AF41	100010	34	3 ▾
	100011	35	3 ▾
AF42	100100	36	3 ▾
	100101	37	3 ▾
AF43	100110	38	3 ▾
	100111	39	3 ▾
CS5	101000	40	4 ▾
	101001	41	4 ▾
	101010	42	4 ▾

	101011	43	4 ▼
	101100	44	4 ▼
	101101	45	4 ▼
EF	101110	46	4 ▼
	101111	47	4 ▼
CS6	110000	48	3 ▼
	110001	49	3 ▼
	110010	50	3 ▼
	110011	51	3 ▼
	110100	52	3 ▼
	110101	53	3 ▼
	110110	54	3 ▼
	110111	55	3 ▼
CS7	111000	56	3 ▼
	111001	57	3 ▼
	111010	58	3 ▼
	111011	59	3 ▼
	111100	60	3 ▼
	111101	61	3 ▼
	111110	62	3 ▼
	111111	63	3 ▼

Save Restore Default Cancel

ステップ3:DSCP設定テーブルの各DSCP値に対し、[キュー]ドロップダウンリストから優先レベルを選択します。これにより、DSCP値が選択されたQoSキューにマッピングされます。

Decimal	Queue
0	1 ▼
	1
	2
	3
	4

一般に、優先順位を設定するために使用できる4つの値があります。キュー番号w.r.tの10進数のデフォルト値は次のとおりです。

- 0-15 : デフォルトのDSCP値は1です。この値は最も低いプライオリティです。
- 16-23 : デフォルトのDSCP値は2です。
- 24-39および48-63 : デフォルトのDSCP値は3です。
- 40-47 : デフォルトのDSCP値は4です。この値は最も高い優先度です。

ステップ4 : 変更を適用するには[Save]をクリックし、変更を適用する場合は[Restore Default]をクリックして、古い値に戻します。